

所長のことば（12月）

今年もあとわずかになりました。

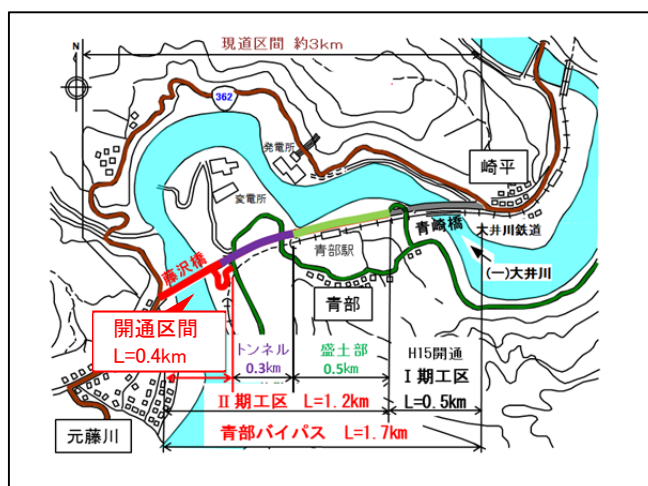
所内では、年末年始の交通規制を抑制するために道路工事等の工程調整を行ったり、10月の台風18号による災害復旧工事の発注準備を行ったりと、押し迫った中であたたかい毎日を送っています。

前回（11月）以降、3箇所で新しい道路が供用開始（開通）しました。今回は、このことについてお話します。

開通日	路線名（箇所名）	供用区間の概要
10月21日（火）	国道362号（川根本町元藤川～青部）	青部バイパスの一部区間として、藤沢橋（橋長233m）含む629mを供用
11月11日（火）	県道島田吉田線（吉田町神戸～片岡）	島田吉田線バイパスの最終工区（片岡工区）1,240mを4車線で全線供用
11月19日（水）	県道焼津森線（藤枝市下当間）	国道1号仮宿交差点～焼津市境までの4車線化事業のうち、北側の580mを供用

◆国道362号青部バイパス【川根本町元藤川～青部】＜平成26年10月21日開通＞

大井川鉄道S.Lの終着駅となる千頭駅で有名な川根本町千頭。ここにつながる南北の幹線道路が国道362号です。川根本町元藤川から青部までの約3kmは道路幅員が狭く、水力発電所の送水管や急峻な地形条件により見通しの悪い区間となっています。地元の人からは「最後に残った最大の難所」とであると聞いています。



当区間を新しくつなぐ道路が「青部バイパス」です。一級河川大井川を渡る2つの橋梁と1つのトンネルを含む、全延長1.7kmのバイパス計画です。北側の青崎橋（あおさきばし）は既に供用済みで、平成16年度から2期工区として1.2kmを整備しています。

10月21日に供用したのは、藤沢橋（ふじさわばし）を含む2期工区の一部区間です。
 今回の供用区間は、まだ大型車の通行はできませんが、大井川対岸の県道に接続して交通の分散化が図られます。観光シーズンにはエコパーク・南アルプスの奥大井を訪れる観光バス等により、渋滞が発生する区間であるため、渋滞緩和につながると大いに期待するとともに、引き続き全線開通に努めていきます。



現道



大井川に架かる藤沢橋

開通の当日には、地元の川根本町が「渡り初め式」を催し、3夫婦や保育園児、地域を代表する皆さんが新しい橋の安全を願って盛大に祝っていただきました。地元に残る勇壮な赤石太鼓とともに、地域に愛される道になることを願っています。



「渡り初め式」(平成26年10月21日)

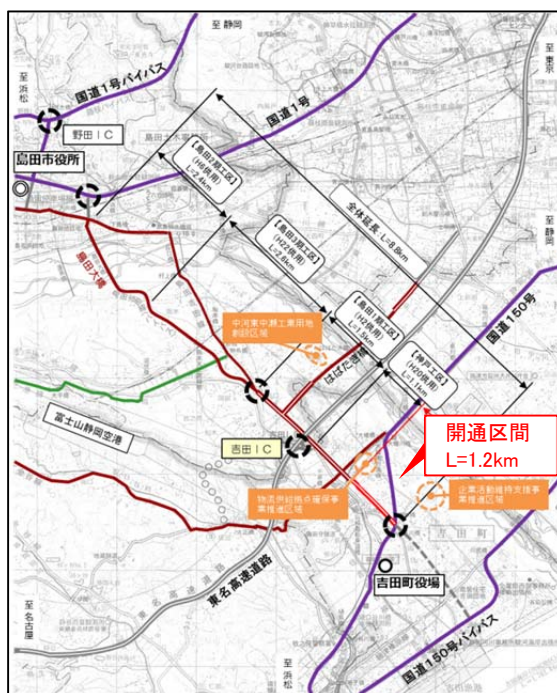
◆県道島田吉田線バイパス・片岡工区【吉田町神戸～片岡】＜平成26年11月11日開通＞

県道島田吉田線は、国道1号と国道150号を南北に結び、東名高速道路の吉田ICや富士山静岡空港へのアクセス道路としても非常に重要な道路です。

本線の慢性的な渋滞解消を目的に、昭和49年度から全長約8.8kmのバイパス整備に着手しました。

これまでに約7.6kmが供用しましたが、11月11日には、残りの片岡工区約1.2kmが開通しました。

当バイパスは、島田市、吉田町の「内陸フロンティア推進区域」に近いことから、さらに地域の防災・減災と発展に寄与することと



大いに期待しています。

開通の日は、地元の皆さんとともに「開通式」を行い、新しい道路の安全と地域の発展を祈願しました。また、開通式に先立ち、「こども交通安全教室」が地元自治会の主催（ヤマト運輸(株)協賛）により開催され、地元保育園の園児たちが交通ルールを学習しました。



テープカット
(平成 26 年 11 月 11 日)



交通安全教室

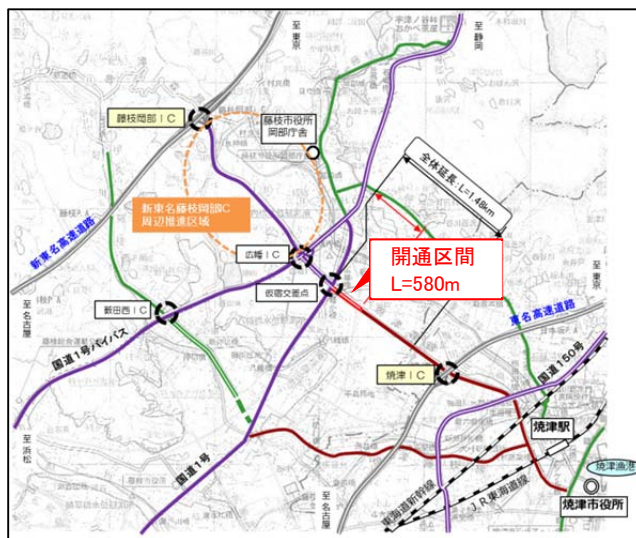
◆県道焼津森線の拡幅【藤枝市下当間】＜平成 26 年 11 月 19 日開通＞

県道焼津森線は、東名高速道路の焼津 I C と国道 1 号バイパス広幡 I C を南北に結び、新東名高速道路の藤枝岡部 I C につながる幹線道路です。

東名と新東名の両高速道路をつなぐ「高速交通ネットワーク」として、平成 24 年の新東名供用以降、大型貨物車等による物流に大いに利用されています。

このため、特に大型車による交通渋滞を解消するため、2 車線の道路を 4 車線に拡幅改良する事業を進めています。

現在事業を実施している藤枝市内の約 1.5 km のうち、580 m の区間を 11 月 19 日に 4 車線で供用しました。



1 日の自動車交通量が約 1 万 9 千台あるため、交通開放は段階的に慎重に行いましたが、スムーズに交通の流れを切り替えることができました。道路利用者の皆さんには、工事期間中も含め、交通規制にご協力いただきありがとうございました。



慢性的に渋滞した元の道路



供用した4車線道路

本路線は藤枝市の内陸フロンティア推進区域に通じる幹線道路であることから、引き続き整備を推進し、安全・安心と地域成長を両立した魅力ある地域づくりの実現に寄与することと期待しています。引き続き、全線4車線化の早期実現に努めます。

これからも地域の皆さんとともに、地域のための道づくりを進めてまいります。今後とも、県事業に対する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

新しく迎える年が、皆様にとって幸せな年でありますことを心よりお祈り申し上げ、年末のご挨拶とさせていただきます。

平成26年12月26日
島田土木事務所長 杉本 則尚